

ロータリーに輝きを

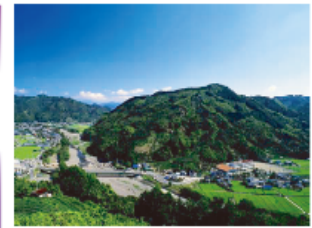
FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

## 藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321  
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040  
E-mail:club1991@fujieda-rotary.org

会長：伊藤 彰彦 副会長：内山 淑夫 幹事：渡邊 芳隆 副幹事：竹田 敏和

### 第1131回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 我等の生業・花
- ソングリーダー 平原 望君

## ■ 会長報告

伊藤 彰彦君

みなさん、こんにちは。先日の日曜日は藤枝市は県議会議員選挙も無投票で終わりましたが、ついに地方議会選挙の投票率も50%を切る状況になってしまったようです。国民の関心が地方議会から離れているのでしょうか？選挙民として考えなければならないと思います。

さて、今週は恒例の日本の風習について取り上げます。来月5月は何といっても端午の節句だと思います。この、端午の節句は5節句の一つで「菖蒲の節句」とも呼ばれ、男児の健やかな成長を祈願する様々な行事があります。一例をあげると、強い香気で厄を祓う菖蒲やよもぎを軒下に吊るしたり、菖蒲湯に入って無病息災を願うというものです。また、ちまきや柏餅をこの日に食べるということも各地で行われています。

さて、この5月5日になぜ決まったのかというのは、旧暦では午（うま）の月は5月にあたり、この午の月の最初の午の日を節句として祝っていたそうですがのちに（午を「ご」と読むと）5が重なるという意味で5月5日になったと言われています。

では、端午の節句を祝う風習は日本独特のものかという、実は紀元前3世紀の中国、楚で始まったと言われています。いくつかの説がありますが、この頃からちまきを食べていたようです。

これが日本には奈良時代に伝わってきたようで、男性が戸外に出払い、女性だけが家の中に閉じこもって、田植え前に身を清める「五月忌み（さつきいみ）」という行事と結びついたといわれています。ですから、日本では端午は

元々女性の節句だということです。

鎌倉時代に入り「菖蒲」が「尚武」と同じ読みであること、菖蒲の葉の形が剣を連想させることから、端午は男の子の節句になったということです。

こうして江戸時代になると徳川幕府の重要な式日として5月5日が定められ、大名や旗本が式服で江戸城に集まり、将軍にお祝いを奉じるようになったそうです。また、将軍家に男の子が生まれると、玄関前に馬印（うまじるし）やのぼりを立てて祝をしたのが現代の端午の節句の原型のようです。

ですから、端午の節句は日本独自のものではなく、中国を起源としているため、仏教圏の国には同じような行事があるようです。（男の子の節句としてではなく、単に端午の節句の行事としてあるとご理解ください）

ベトナムの出身のベトナムでも旧暦の5月5日は「端午の節句（Tet Doan Ngo）」とよび、ハノイでは祭壇に果物とともに、もち米の発酵食品を供えてお祝いしているようです。更に、端午の節句を別名「殺虫節（Tet Giet Sau Bo）」ともいわれ、この日に果物を食べると体内の虫が退治されると言われているようです。

ベトナムの地域ではいかがですか？

以上、本日の会長挨拶および会長報告にさせていただきます。

## ■ 幹事報告

渡邊 芳隆君

- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会よりハイライトよねやま181が届いております。

## 出席報告

富澤 賢一君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
37/45 82.22%	37/45 82.22%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○樽井君 ○中村君 ○渡辺哲君 池谷君  
植田君 梅島君 川口君

## スマイルBOX

富澤 賢一君

- ・米山奨学生のベト君が2年目に入りました。今は就活に頑張っています。声をかけてあげてください。ちなみに今月の14日で26才になりました。  
次男がアスレチックトレーナーの試験に合格いたしました。浜松の治療院にやっと就職してくれました。 稲葉俊英
- ・誕生日プレゼント有り難うございました。71才になりますが、いつまでも元気でいたいと思います。 小山明良
- ・誕生日プレゼントありがとうございます。51才になりました。これからもよろしくお願いたします。 渡邊博文

スマイル累計額 496,150円

## 会員卓話

『缶について』  
杉浦 聡君



「鉄」の話ですが、以前資源ゴミの話の中でも紹介した「缶」についてです。具体的には「アルミ缶」「スチール缶」です。

昨年の1月ごろ我々の鉄鋼業界では劇的な変化がありました。鉄鋼メーカーや鉄鋼販売業を営んでいる人々の間ではけっこう話題になった事案です。缶コーヒーの話です。国内缶コーヒー市場で約4割弱のシェアを占める日本コカコーラが販売している「ジョージア」のミルク入り缶コーヒー(190cc)の容器が昨秋全面的に更新され、スチール缶からアルミ缶に切り替わることが発表されました。数量にして実に年間100億本強! 缶

用鋼板(ティンフリー鋼板)の重量にして9万トン「鉄」の仕事がなくなった話になります。

今まで缶コーヒー市場は「スチール缶の牙城」と言われ、近年ブラックコーヒーは先行して一部アルミ缶への切替えが行われておりましたが、食品衛生上、厳しい品質検査が必要とされるミルク入り缶コーヒーについてはスチール缶でなければ売ることが出来ない規制(法律ではない)が30年以上続いていました。ここ最近は安全が認められた認定工場に限り、准じ切替えが可能になっていたようです。

ミルク入り缶コーヒー缶の内部では、栄養分が豊富なことから致死率10%~20%と高いボツリヌス菌という食中毒菌が繁殖する可能性があるそうです。一般には飲料メーカー側でこのような危険を抑えるために高温度充填、高温度殺菌、打検などが必要とされてきました。

缶の性質上、スチール缶は高温度殺菌に適していることに加え、打検の安定性が保てること、食中毒が繁殖した場合に缶が膨らむため見分けが付きやすい利点がありました。

一方のアルミ缶は缶自体の強度を補うために飲料+窒素充填をして膨らませているものもあり、腐敗缶との見分けがつかないという欠点があります。よって、今まではスチール缶の優位性は確固としたものがあつた訳です。

アルミ缶に切り替わったもう一つの要因は価格です。もともとアルミ缶の価格の方がスチール缶より1tあたり3倍弱高かったのですが、アルミの方が1缶あたりの重量が軽いこともあり、その価格差が縮まり、鉄よりも地金価格変動の幅が小さく安定した価格相場も飲料メーカーの購買担当者の御眼鏡にかなつたようです。

また、缶コーヒー市場においてジョージアは国内シェアでトップの座にありますが、近年はコンビニコーヒーとの激しい競争にさらされていることもあり、競争力強化のため容器資材費のコストをいかに抑えるかということもポイントだったようです。

近年は企業のコスト意識も高く、様々な条件がクリア出来れば軽くて輸送費の少なくなるアルミ缶を使いたい需要が徐々に高まっていたようです。

一方のスチール缶の特徴は強度があるため不良品が少なくメーカーに言わせれば優位性があるとのことですが若干劣勢なのは否めません。

しかし別の視点から見るとスチール缶に

も確かな優位性があるのです。「リサイクル」という観点になります。皆様も資源ゴミの日にアルミ缶もスチール缶も同じように分別して捨てていると思いますので、リサイクル率もだいたい同じように思われるかもしれませんが、ここ最近では少し様子が変わってきています。

資源ゴミの品目別リサイクル率ですが… 1位はなんと！段ボールでリサイクル率 99.4%です。次いでスチール缶は堂々2位で92.9%！です。続いてペットボトル 85.0%、その後にアルミ缶で83.8%となっています。アルミ缶とスチール缶では10%も差があるのです。

以前まではアルミ缶も優等生でスチール缶よりもリサイクル率が高い時期があったようですが、近年のリサイクル率は下方傾向です。

これにまつわる代表的な事案としては、蒲原町にある「日本軽金属 蒲原製造所のアルミ精錬業閉鎖」が話題になったのが記憶に新しいと思います。蒲原町のバイパスを通るとそびえ立っているコンビナートの所です。国内のアルミ精錬業が完全に衰退してしまったことが背景にあります。

衰退の主な要因は度重なる電力料金値上げのためにコスト高になってしまい、国際競争力がなくなり、アルミそのものを製造するよりも割安な輸入品に頼ってしまった状況があります。ですので、アルミ缶の製缶加工は国内で行われていますが、素材はほぼ輸入品なのです。

その点、「鉄」は国内の機関産業とも言える電気炉メーカーのもと、資源素材として回収方法、流通売買、リサイクル技術による再利用が確立しているため、常にリサイクル率が高く、鉄はリサイクルの「無限素材」と言われるほどの優等生なのです。

本日は鉄鋼業界のピンチをチャンスにするべく、スチール缶 PR のためにスチール缶に充填したビールを持参しました。鉄鋼メーカーも取られた市場を挽回すべく努力している形がこの「ビール用スチール缶」です。

昨年、東京で行われました産業遺産国際会議で世界遺産登録を目指している新日鉄住金八幡製鉄所が、同工場で製造したスチール缶ビールを振る舞い、来賓として御見えになった安倍首相もスチール缶ビールで乾杯をしております。安倍首相はサラリーマン時代、鉄鋼高炉メーカーである神戸製鋼所に勤めていた経歴の持ち主で、鉄鋼業界とのつながりも薄くない御関係です。

皆様をお願いしたいのは、もし同じ様な商品が

ありましたらぜひスチール缶商品をお選び頂き、我々鉄鋼業界を下支えして頂ければ幸いです。

## ■ 奨学金授与

米山奨学生  
ドーベトクーン君



## 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
4/24(金) 第1132回	地区協議会報告	
5/1(金)	休会④	
5/8(金) 第1133回	会員卓話②③	
5/15(金) 第1134回	外部卓話⑥	

(担当/漆畑君)